

令和4年度 上田市立菅平小・中学校 学校自己評価(後期)アンケートの集計とまとめ NO. 1

【 A…かなりできている(かなりそう思う) B…どちらかというと、できている(どちらかというと、そう思う) C…どちらかというと、できていない(どちらかというと、そう思わない) D…ほとんどできていない(ほとんど思わない) 】

学校教育目標	めざす子どもの姿	今年度の重点目標
郷土を拓く大地の教育	協働して目の前の問題を解決していくことができる子ども ～相手意識を持った自立した学習者～	(1) 子どもを主人公とした授業づくり (2) ふるさと菅平に学び、郷土に生きる人材の育成 (3) 誰もが安心できる集団づくり

領域	対象	評価項目	評価の観点	質問内容	児童・生徒アンケート				保護者アンケート				教職員アンケート				分析と考察				
					相対評価(%)				相対評価(%)				相対評価(%)								
					A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D					
					上・上段 小学校後期集計				上・上段 小学校後期集計				上・上段 小学校後期集計								
					上・下段 小学校4年度前期				上・下段 小学校4年度前期				上・下段 小学校4年度前期								
					下・上段 中学校後期集計				下・上段 中学校後期集計				下・上段 中学校後期集計								
					下・下段 中学校4年度前期集計				下・下段 中学校4年度前期集計				下・下段 中学校4年度前期集計								
教育活動	生徒指導	互いに認め合う人間関係	① 相手の良さに気づき、発信しているか。	〈児童・生徒〉 自分は相手の良さに気づいたり、相手を認め合いながら様々な活動に取り組んでいる。 〈保護者〉〈教職員〉 子ども達は相手の良さに気づいたり、認め合いながら様々な活動に取り組んでいる。	53	38	9	0	28	55	17	0	0	100	0	0	小学校中学校ともに9割の児童生徒が、相手の良さを認めて受け止める生活することが出来ています。良さを受け止めることはできているが、相手に伝えるということがやや難しいのではないかと考えられますので、今後も相手に伝える場面を作ったり、伝えることの良さを感じることが出来る場面を作ったりしていきたいと考えています。保護者アンケートでは、前期同様A・B回答を合わせると小学校中学校ともに、8割を超えています。他者の良いところを認めて伝えることができていると受け止めていただいているようです。教職員としても、今後も子供たちの姿をよく見て、他者尊重・相手を認め合う人間関係の大切さを伝える指導を継続していきたいと思います。				
		相手意識のある挨拶	② いつでもどこでもだれにでも、さわやかな挨拶ができているか。	〈児童・生徒〉 自分はいつでもどこでもだれにでも、さわやかな挨拶ができる。 〈保護者〉〈教職員〉 子ども達はいつでもどこでも誰にでも、さわやかな挨拶ができる。	33	48	14	5	30	45	23	2	0	29	57	14	児童生徒は、前期アンケート結果と大きな変化はありませんでした。保護者アンケートでは、小学校ではAが増えて、中学校では、ABの回答が減りC回答が増えました。職員アンケートでは、小学校中学校共にC回答が約6割となりました。職員の多くが挨拶について課題を持っているという結果になりました。まずは、教職員からの明るい挨拶を心がけたり、校門や玄関ホールでの挨拶が、挨拶の習慣になり、一つの手立てになるように、工夫したり、挨拶をすることの大切さや挨拶によって生まれる良さを、日常生活の中においても指導したりしていくことを続けていきたいと考えます。ご家庭や地域でのお声掛けも、今後もよろしく願います。				
	学習指導	学習習慣の形成	③ 学習のルールを守り、集中して取り組んでいるか。	〈児童・生徒〉 自分は学習のルールを守り、集中して授業に取り組んでいる。 〈保護者〉〈教職員〉 子ども達は学習のルールを守り、集中して授業に取り組んでいる。	32	64	5	0	23	45	30	2	17	83	0	0	前期に引きつづき、小学校・中学校ともに、A・B回答を合わせると9割を超えています。仲間と協働しながら、学習する上でのルールや学習の流れを意識し、授業に集中して取り組んでいるようです。しかし保護者アンケートでは、小学校ではC回答が増え、中学校ではA回答が減りました。小学校の保護者の方3割の方が、学習習慣が身につけていないと考えられているようです。可能な範囲で学校開放を行い、保護者の方に授業を見ていただく機会を増やしていきたいと考えます。教職員としても、ねらいをもち、めりはりを意識し、まとめを行い、子どもが集中して取り組める授業になるように引きつづき努力していきたいと考えます。				
		授業改善	④ 子どもたちにとって、分かる楽しい授業になっているか。	〈児童・生徒〉 先生たちは子どもたちにとって、分かる楽しい授業をしている。 〈保護者〉〈教職員〉 教職員は子ども達にとって、分かる楽しい授業をしている。	59	16	19	7	36	30	26	9	0	83	17	0	中学校では、9割の生徒がわかる楽しい授業をしてくれていると答えています。小学校では、約25%の児童がわかりずらさを感じています。保護者アンケートでも小学校中学校共に約3割がC・D回答です。そのため、どの子にとっても分かり、問いを解決できる授業になるよう、今後も互いの授業を見合うなどして、児童生徒にとってのより良い授業づくりをしていきたいと考えています。				
		家庭学習の充実	⑤ 家庭学習が習慣化し、学習内容の理解と定着に結びついているか。	〈児童・生徒〉 自分は家庭学習が習慣化し、学習内容の理解と定着に結びついている。 〈保護者〉〈教職員〉 子ども達は家庭学習が習慣化し、学習内容の理解と定着に結びついている。	38	43	17	2	34	28	32	6	17	50	33	0	小学校では前期から大きな変化はなく、A・B回答を合わせると8割を超えています。中学校ではA・B回答が減りC回答が3割となりました。また、小学校保護者の3割以上がC・D回答、中学校保護者の4割以上がD回答となりました。この結果を受け、今後も各教科における授業での適切な声かけや、中学校では自学の時間における計画・見直しの声かけ等を継続していきたいと考えます。				
	キャリア教育	地域への愛着	⑥ この地での生活に喜びを感じているか。	〈児童・生徒〉 自分は、我がふるさと菅平での生活に喜びを感じている。 〈保護者〉〈教職員〉 子ども達は、我がふるさと菅平での生活に喜びを感じている。	69	24	7	0	40	47	13	0	29	71	0	0	⑥では、前期同様小学校児童のA・B回答が9割を超えています。中学校生徒は、A回答が減りC回答が増えました。保護者アンケートでは小学校はA・B回答を合わせる8割を超え、中学校は約7割となりました。中学生がなぜC回答が増えたのか原因を探りながら、菅平での生活の良さを感じられるような教育活動を仕組んでいくことが課題だと考えます。				
		地域を知る	⑦ 地域との交流をはかり、菅平ならではの本物体験・感動体験を味わっているか。	〈児童・生徒〉 自分は、総合的な学習やスキー活動を通して、地域との交流をはかり、菅平ならではの本物体験・感動体験を味わっている。 〈保護者〉〈教職員〉 子ども達は、総合的な学習やスキー活動を通して菅平ならではの本物体験・感動体験を味わっている。	68	26	6	0	53	40	6	0	50	33	17	0	⑦の菅平の自然や産業の理解については、小学校中学校ともにA・B回答が9割を超えています。さらに、菅平について理解を深めると共に、今後も総合的な学習の時間では、小学校では、主にドリームワークス活動を、中学校では、「Take Action 菅平のためにできることをしよう」をテーマに据えて、ふるさと菅平を知り大事に思う心を育んでいきたいと考えます。今後も地域の皆様・保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。				
	その他		⑧ 楽しい学校生活	〈児童・生徒〉 自分は、毎日学校へ行くのを楽しみにしている。 〈保護者〉〈教職員〉 子ども達は、毎日学校へ行くのを楽しみにしている。	35	50	10	5	30	49	19	2	14	86	0	0	児童・生徒アンケートでは、A・B回答を合わせるとともに8割を超えています。保護者アンケートでは、前期と比べると小学校中学校ともにA回答が減りB回答が増えました。児童生徒一人一人に寄り添い、関係を築きながら、学校が子どもにとって楽しく充実したものと感じることが出来るように今後も支援していきたいと考えています。				